

月周回衛星「かぐや」がアメリカのアポロ計画以来といわれる月探査を行っております。この「かぐや」からハイビジョンカメラで撮影された地球の映像が送られてきました。太陽の光を受け、白い雲をちりばめた青い地球は、思わず息をのむような美しさであり、身体に衝撃が走るほどの感動でした。月の地平線から上ってくる地球の美しさは、私達に何かを語りかけてくれている様でもあります。

私達は今、その美しい地球の上に身を置いております。そして、その美しさを保ってゆく努力をしなければならぬ、これが私達に課せられた責務でもあります。

地球環境の破壊が目に見える様になってきて、環境保全が叫ばれる中で、私達一人一人が、また私達が持つ組織一つ一つが、この美しい地球を守ってゆかなければという意識を強く持つことが必要になってきます。

ミネベアはいち早く環境保全活動を経営の重要課題とし、企業活動により生ずる環境への負荷を最小限にすべく取り組んできております。そして、ミネベアの環境保全活動がどの様に行われているかを皆さんにご理解いただくために、2003年より環境レポートを発行してきました。その環境レポートも本編で第6号となりました。

今後とも、環境保全活動は未来永劫に続いてゆく経営課題であるという認識を強く持ち、しっかりしたビジョンを持った基本方針を掲げ取り組んで参りますので、よろしくご支援をお願い申し上げます。

洞爺湖サミットにおいて、各国が2050年までにCO₂排出量を半減させることに合意したことは、画期的なことではありますが、同時に現在の環境に関する世界の実態がそこまで深刻であることを示すものと捉えねばなりません。

当社においても、使用するエネルギーの削減すなわちCO₂排出量の低減には、これまで様々な角度から取り組んできました。特に、昨年来これまでの工場の省エネルギー技術の集大成として計画したボールベアリング部品の切削・熱処理工場が、今年5月に竣工し稼働を開始しました。計画通り、エネルギー使用量40%削減を達成できたことは大きな成果でしたが、これは工場の空調、照明、冷却水、エア一等のユーティリティのエネルギー使用量を基準にしたものです。加工工程や機械そのものの省エネルギーに関しては、やるべきことはまだまだ多くあります。

当社の製品は、その部品を切削や研削などの機械加工によって作るものが多いわけですが、そこで出る切クズを最小限とする、あるいは加工時間を短縮することは、製造原価の低減に繋がると同時に、環境への負荷を減らすこととなりますので、従来より徹底した取り組みを行っております。パイプ材の積極的な採用などはその具体例です。

一方、社会においても、消費者の購買意欲を刺激する目的で開発される新商品を、手を変え品を変え売するには、そろそろ限界が見えてきております。安心して長期間使える製品へのニーズが、徐々に高まっております。当社の部品がそのような製品の実現に役立ち、また評価を受けるよう、今後も絶えまぬ努力を続けてまいります。



山岸孝行

代表取締役 社長執行役員
山岸孝行



平尾明洋

取締役 専務執行役員
環境管理担当
平尾明洋